

第6回・第7回 懇談会レポート

6月9日(水)の第6回懇談会は、施設見学会を実施し、多摩川衛生組合と西多摩衛生組合に行きました。2施設とも、当組合と同じように複数の市で共同でゴミ処理を行っています。どちらの施設も、平成10年3月にできあがったばかりで、環境に配慮した最新の技術がたくさん盛り込まれています。私(えんとつさん)も年を取り古くなってしまったので、今度はあのような素晴らしい施設に生れ変わりたいと感じた1日でした。

【多摩川衛生組合】
施設は稲城市にあり、焼却炉はストーカ式で、ゴミを燃やした熱を利用して発電を行っています。この電気は清掃工場内で利用し、また余った分については東京電力に売電しています。焼却灰をガラス状に固めてしまいうりサイクルの新技术(灰溶融といいます)も導入されています。構成市は、稲城市・狛江市・府中市・国立市です。



【西多摩衛生組合】
施設は羽村市にあり、青梅市・福生市・羽村市・瑞穂町のごみを焼却しています。不燃ごみ・粗大ごみは構成市で処理して、ここでは可燃ごみの焼却だけを行っています。焼却炉の方式は流動床式といい、熱した砂の中にゴミを入れて燃やすものです。ゴミ発電の設備もあります。



第7回懇談会は、6月26日(土)に衛生組合の会議室で開催されました。昨年度の中間報告で決まった「ゴミ処理施設整備のあり方」の9項目のうち3項目について議論しました。



懇談会の後継をご希望の方は、下記の問合せ先までご連絡下さい。
問合せ先/小平・村山・大和衛生組合 施設建設課
☎042-348-0053

ごみいった話 ~小村大の困った。困った。~

火災発生！ えっ？ 不燃ごみが爆発炎上？！

5月31日(月)午前10時20分頃、火災が発生しました。「えっ、火災！ 焼却炉から火が飛び出した?!」いえいえ、そうではありません。発生したのは破砕施設(不燃ごみ・粗大ごみを細かく砕く施設)なのです。発見時には、ピット(収集車のごみを一時ためる所)から煙が出ていました。ポンプ車や化学車など計16台の消防車が出動して、約2時間かかって消し止めました。ゴミの中に混じっていたスプレー缶などが破裂したのが原因と見られています。とってもキケンです。作業員がケガをすることもあります。



・スプレー缶は使い切ってから穴を開けて出しましょう。
・灯油を入れたままストーブをゴミに出すのはやめましょう。
「えー、そんなの当たり前だよ!」と思われるかもしれませんが、このようなことが原因で他の施設等でも火災が起きています。あなたの家からゴミを出す前に、この写真をちょっと思い出してみ下さいね。みなさんの心がけ次第で火災を防げるのです。



私は小さいけれど自治体組織なのです。ですから、他の自治体(都道府県市町村など)と同じように、大切なことを決めるための議決機関として「組合議会」があります。組合議会の議員の中から4人ずつ、計12人の議員で構成されていて、組合の予算、決算、条例の改廃、事業計画等について審議しております。今年の統一地方選挙後の平成11年5月28日に、組合議会5月臨時会としての初議会が開催され、組合議会の正・副議長の選挙、議員選出の監査委員の選任同意等が行われました。

平成11年度 組合議会について

議長 押本 治雄
副議長 原田 拓夫
監査委員 藤田 一則

組合議会議員

市別	氏名
小平市議会選出議員	石川 紀 加藤 慎厚 柳打 喜久雄 島村 幸子 尾崎 保夫
東大和市議会選出議員	押本 治雄 田村 日出男 吉野 孝 善家 裕子
武蔵村山市議会選出議員	原田 拓夫 藤田 一則 柳山 敏夫

(敬称略)

みなさんの家庭から出た不燃ごみ・粗大ごみは細かく砕きます。鉄やアルミなどリサイクルできるものを除いた後、さらに「燃えるもの」と「燃えないもの」に分けています。この「燃えるもの」の中には軽くてフィルム状のプラスチック類が含まれていますが、汚れているためにリサイクルできません。そこで、焼却炉に影響がなく、有害物質の発生を抑えられる割合で可燃ごみと良く混ぜ合わせて焼却しています。これにより運ばれる量も減らせて、最終処分場も延命化されます。しかし! プラスチックをただ燃やせばなし

燃やしているって本当? プラスチックを

では、ダイオキシンの発生も心配されます。もちろん、組合ではきちんと対策を行い、国の基準値を下回る数値となっています。みなさんにもデータを公表しています。でも、施設が建てられたのは23年前。最新技術の施設と比較すると見劣りしてしまいますが、有害物質を発生させないように、また分解除去しながら運営しています。現在、プラスチックの処理には、埋立て、油化、固形燃料化、焼却等があります。今後は、容器包装リサイクル法により、高炉原料化(製鉄所で燃料としてリサイクルする)という方法等が考えられています。

VOICE 編集後記

今回の火災では、けが人もなく大事に至らず、消し止めることができたので良かったです。でも、清掃工場が全焼して、明日からゴミの処理ができなくなってしまうと、みなさんはどうしますか? 私たちは、日常生活の中でたくさんのごみを出しています。清掃工場だけの問題だけではなく、収集車から排気ガスも発生するし、大切な資源であるガソリンもたくさん消費します。ゴミを捨てる事により、環境に負荷を与えています。私たちにできることは、いったい何でしょうか? 例えば、古紙を利用したトイレットペーパーをみんなが使うと、メーカーでは安く作れるようになり、値段も安くなる。紙のリサイクルがすすみます。集むなど、色々なところでゴミを減らす努力を怠りません。

さて、「えんとつ」には地域版もあります。ご希望の方は小村大衛生組合までご連絡ください。では、また次号でお会いしましょう。

小平・村山・大和衛生組合の沿革
小平・村山・大和衛生組合は、ごみを共同処理するため、一部事務組合として昭和40年に発足し、昭和41年から焼却施設を稼働。現在に至っています。

発行元
小平・村山・大和衛生組合
住所/小平市中島町2番1号
電話/042-341-1434
平成11年8月発行

えんとつ No.5

小平・村山・大和衛生組合



青い空と豊かな緑
ここぞわたしたちは
自然と共に生きています
未来へと続く
このすばらしい環境のために
わたしたちには
何ができるでしょうか?

どう考えますか？

7年後のごみ、あなたは

現在の施設は、
かなり古くなってきました。
平成18年以降は、
新しい施設にすることを
検討しています。

ごみが減ると、処理する経費が少なくて済みますし、発生するダイオキシンも少なくなります。でも、ごみが完全にゼロにならない限り、どこかで誰かが処理しなくてはなりません。私はみなさんの処分できないごみを処理しています。新しい施設を考えるには、出てくるごみの量や質が重要で、各家庭から出てくるごみがなくなり全部リサイクルされれば、私は不要となります。7年後は、あなたの生活・ごみ・処理施設はどうなっているでしょうか？

さて、普段あまりなじみのなさそうな清掃工場ですが、みなさんと私との間には次の3つの関係があります。

1.ごみを出すみなさんと処理する私

もし、私がいなければ、みなさんは自分でごみを処理しなくてはなりません。各家庭から発生したごみを処理するのが私の使命なのです。家の近くのステーションにごみを置いておけば、持って行ってくれるというのはすごく便利。でも、あまり便利すぎても、大量生産・大量消費につながってしまうかもしれません。環境のために便利さを我慢できますか？

2.お金を払うみなさんと使う私

ごみの処理にはたくさんお金がかかります。平成10年度には、おおよそ一人当たり15,000円/年、ごみ1kg当たり45円ほどかかりました(収集から埋立まで)。ごみ処理にけるお金が減れば、税金を他の事業に使うことができます。ごみ処理にはお金がかからない方がよいですか？ それとも、環境のためには、もっとお金をかけてもよいと思いますか？

3.環境に影響を与えるみなさんと、そして影響を受けるみなさん

ごみを処理することで、周辺地域や地球環境に影響があります。最新の施設は、国の基準よりも有害物質が少なく、健康にも悪影響はないといわれていますが、それでもゼロにはなりません。私は、できる限りの努力をしています。みなさんの出したごみですが、結局その影響をみなさんが受けてしまっています。

街でみなさんにその3つの関係について
インタビューしました。

分別は、もっと細かくてもよいと思います。例えばビンの色ごとに分けて出すとかですね。ここは、けっこう分別が細かくて「雑紙」でお菓子の箱とか割り箸の袋などと分別区分の紙に書かれています。でも、もしも全部燃やしてもダイオキシンなどが発生しない施設だったら、ごみの分別はしなくてもよいのではと思います。買い物に行っても包装が多いので、マイ・バッグを持って行きます。



テレビでドイツの処理方法を見ました。買い物をした時にいらない箱をスーパーに置いて行き、お店で処理をします。段ボールを汚さないでリサイクルしています。私は、買い物する時に、なるべくトレーなしのものを購入します。分別に関しては、家族の協力がなかなか得られません。分別がもう少し細かくなってもよいから、可燃・不燃などの収集回数を増やしてくれると便利です。

ごみを出すみなさんと処理する私

〈えんとつさんコメント〉 ごみの分別、リサイクル、発生抑制など、分かっているけど実践するのはなかなか大変ですね。すぐごみになるものを作らない、簡易包装に努めるなど事業者ももっとがんばらなくてはいいですね。ごみ問題解決に向けて、もっと良い方法はないのでしょうか。みなさんはどう思いますか？

お金を払うみなさんと使う私

ごみを処理してもらっているの、ごみ処理にお金がかかることは賛成です。お金がかかっても、処理をきちんとしてくれればよいと思います。



ある程度は有料化してもいい。お金を払うことによって、みんなの意識が変わりごみが減るんじゃないでしょうか。袋に名前を書いて出すようにするといいのでは？ 有料制にするのなら、袋は25円〜30円くらいが良いのではないのでしょうか。



〈えんとつさんコメント〉 インタビューでは、お金がかかるのは仕方ないという意見がほとんどでした。ごみ量が増えると、処理にもお金もたくさんかかってしまいます。でも、実際の金額を聞くと、みなさんびっくりされていました。

環境に影響を与えるみなさんと私、そして影響を受けるみなさん

有害物質が出るのは良くないです。生ごみのコンポスト容器を市で安くあっせんしたら良いのではないのでしょうか。新しい施設にするのなら、最新の技術で有害ガスを出さない施設が良いです。今のまま燃やすのは、健康を害しているようで良くないです。



普段はあまり感じませんが、テレビで見るとちょっと環境問題が気になります。新しい施設を作るのなら、入ってくるごみの量よりも多少ゆとりのある施設が良いと思います。そして、排気とかの状態をきちんと監視できる施設で、その数値も公開して欲しいと思います。



〈えんとつさんコメント〉 環境問題について、非常に関心のある人もいれば、普段あまり関心のない人もいます。環境に影響の少ない施設や処理方法に対する意見をみなさん色々とお持ちのようです。なお、生ごみ処理機等の購入に際しては、各市補助制度がありますので、ぜひご活用下さい。

色々な立場があるのだから、考え方が違うのは当然です。お互いの立場を理解した上でもっとも良い答えを見つけていくことが大切です。そのために十分な議論をして、できる限りみなさんの納得のいく施設を造っていきたく思います。良い施設や地球環境は、みなさんの考えや行動の積み重ねにより実現するので、どうぞ、みなさんも一緒に考えてみて下さい。!!

現在、みなさんのごみを処理する新しい施設について、懇談会で検討をしています。

小平市、東大和市、武蔵村山市の
「ごみゼロプラン」
(平成10年3月)

発生するごみの総量を平成8年度実績レベル以下とし、さらに分別収集することで、33.2%以上をマテリアルリサイクル(びん、缶、紙など、ものの素材をリサイクルすること)します。残りはサーマルリサイクル(焼却などによる熱を利用するリサイクル)することとされています。それから、衛生組合及び組織市では施設の更新に向けて、サーマルリサイクル等の具体的な方法を検討・調整して行きます。

循環型ごみ処理施設
検討懇談会

平成10年12月6日に設置され、ごみ処理施設のあり方をみなさんと話し合っています。懇談会の委員は、3市のごみ審議会代表の方、衛生組合周辺の住民代表の方、公募で集まってきた方、技術面の専門家の合計15人です。

懇談会の中間報告がまとまりました！

(平成11年3月)

懇談会委員の意見を元に、衛生組合のごみ処理施設整備のあり方として、9項目の提言がされました。

- | | |
|---------------------|---------------------|
| ① 公害、環境汚染を起こさない施設 | ⑧ 環境学習、情報発信の機能を持つ施設 |
| ② 地球環境にやさしい施設 | ⑦ 安定して確実に処理できる施設 |
| ③ リサイクルの推進を図れる施設 | ⑥ 維持管理しやすい施設 |
| ④ 最終処分量を減量化する施設 | ⑨ 経費を節減できる施設 |
| ⑤ 施設周辺住民との良い関係を持つ施設 | |

現在、最終報告に向けて懇談会で検討を行っています。平成11年10月頃まで議論を行い、最終報告としてまとめていただく予定です。

最終報告

(平成11年10月予定)に向けて話し合っています

今後の懇談会の検討課題として
①衛生組合における処理機能のあり方について
②ごみゼロプランの実現にあたって今後考えられること

循環型ごみ処理施設事業構想
(平成11年度内予定)

懇談会の内容は、事業構想にできるかぎり反映させていただきます。

施設建設に向けて、より具体的な検討に入っていきます。